

福島第一原子力発電所の廃炉に向けた5年の歩み（進捗）

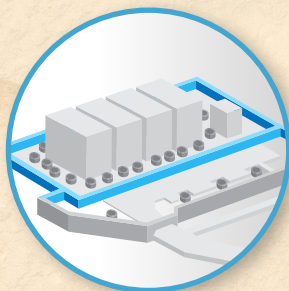
わたしたちは福島第一原子力発電所の安全な廃止措置に向けて、安全最優先で着実に進めていきます。

～放射線量の低減、労働環境の改善、汚染水の処理・浄化・管理、福島復興へのサポート～



労働環境

防護服および全面マスク着用が不要な一般服エリアが構内の90%に。

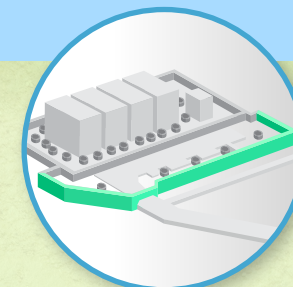


汚染源に水を近づけない

1～4号機建屋周辺の地中に土壌を凍結させた水の壁をつくり、全長約1,500mの陸側遮水壁を構築。



汚染水対策



汚染水を漏らさない

1～4号機の海側に鋼鉄製の杭による遮水壁を構築し、汚染された地下水の海洋流出を防ぐ。閉合により、港湾内の水質は改善傾向。



モニタ設置

構内に86箇所の線量率モニタを設置。作業員は現場でも、建物内に設置した大型ディスプレイでも、リアルタイムな線量率の確認が可能に。



安全対策

地下水の汲み上げ

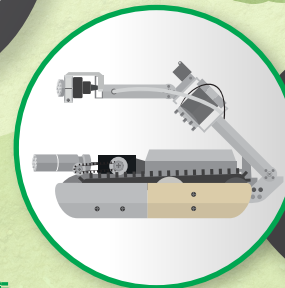
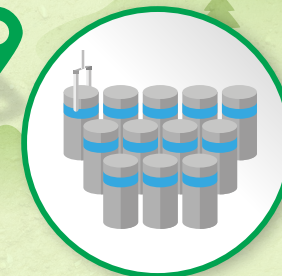
原子炉建屋への流入を防ぐため、地下水バイパスや建屋近傍の井戸にて地下水を汲み上げて濃度を確認した上で排出。

燃料取り出しに向けた準備

使用済燃料の取り出しに向けて、1号機の建屋カバーの解体や3号機の大型ガレキの撤去などを実施。

燃料取り出し

安全な廃炉作業の第1ステップとして、4号機の使用済燃料プールからの燃料取り出し（1,535本）を完了。



ロボット技術

安全上、人が入れない場所の調査に最先端の技術を搭載したロボットを活用。原子炉格納容器内の極めて重要なデータの把握が可能に。



廃止措置

安全な廃止措置に向けた中長期の目標工程を立てた上で、達成に向けた継続的な進捗と福島の復興に向けた取り組みを実施。

環境改善・復興支援

大型休憩所の設置により、あたたかい食事やコンビニ、シャワーの利用ができるようになり、コミュニケーションなどが大幅に改善。福島復興給食センターを整備し、福島県産の食材を利用。



TEPCO

東京電力ホールディングス

福島第一原子力発電所 作業員を支えるための5つの取り組み

——— 心をひとつに ———

私たちは、福島第一原子力発電所で日々懸命に働く約7,000人の作業員に対し、敬意と感謝の心をもって5つの取り組みを行っています。

1



1ヶ月 **9,000** 件のアクセス

新たに開設したウェブサイトでは、作業員の声、安全に関する情報、そして次世代に向けた励ましの声等が共有されています。

2



2,000 部の月刊誌を配信

月刊 いちえふ。は、安全に関する情報や作業員の声など、幅広い話題をカバーする内容になっています。

3



1日 **3,000** 食の温かい食事

現場で働く作業員は、温かい食事をとり、新設された施設で休憩を取ることができます。

4



7,000 人の作業員

福島第一原子力発電所で働く7,000人の作業員と共に廃炉事業を進めてまいります。

5



42 社の協力企業

協力企業と現場の作業員は、心をひとつに協力して廃炉事業を進めます。

協力企業や現場のみなさまと
心をひとつに、
安全最優先で廃炉事業を進めてまいります。

1FOR
ALL JAPAN
廃炉のいま、あした